

京都

大佛師

松本明慶工房 仏像彫刻展

運慶の流れをくむ心と技



不動明王 (桜/プラチナ截金/6寸/総高42.0cm)



普賢菩薩 (楠/截金/半跏3寸/総高34.0cm)

◆会期/2026年6月13日(土)~21日(日)

◆会場/8階 催事場 10時~18時30分 (最終日は16時閉場)
※入場は各日閉場の30分前まで

◎入場料 一般 600円(税込)

※高校生以下無料

※「障害者手帳」をご提示いただいたご本人様ならびにご同伴者1名様まで入場無料

●会員様特典

エムザカード会員様はカードのご提示でご本人様1名様限り
入場無料

二百余体特別展示・販売

期間中、松本明慶工房のスタッフが常勤し、展示品のほか、特別注文も承ります。個人様、寺院様の古い仏像の修理、修復のお見積りやご相談を無料にて承ります。お気軽にお声かけください。

KANAZAWA
mza
金沢エムザ

金沢 むさし TEL(076)260-1111(代)
www.kmza.jp

京都 大佛師 松本明慶工房 仏像彫刻展

ごあいさつ

このたび、金沢エムザでは、6年ぶりに「大佛師 松本明慶工房仏像彫刻展」を開催する運びとなりました。明慶先生は運慶・快慶の流れをくむ大佛師と呼ばれています。17歳から佛師を志して63年。現在は京都大原野において、日々みほとけのお姿を彫り続け、艱難辛苦をかかえた現代を生きる人々の光明となれと打ち込んでおられます。また、2024年大本山増上寺の開宗850年御忌大会において、徳川家康公像及び、厨子制作安置など、ますますのご活躍です。本展では明慶一門が造りあげた、息をのむほどの精緻を極めた魂宿る仏像を一堂に集め、展覧いたします。ぜひ、この機会にご高覧賜りますようお願い申し上げます。



まつもと みょうけい
松本 明慶



みょうかん
二代 明観



大黒天(ねずみ付)
(楠/3寸2分/総高22.0cm)



童地藏
(楠/3寸7分/総高13.0cm)



香合仏 普賢菩薩
(白檀・截金/直径6.0cm)



鬼(魂)
(桜/2寸5分/総高23.0cm)



合掌地藏
(桜・截金/4寸/総高24.5cm)



香合仏 大日如来
(白檀・截金/直径6.0cm)



[浄土真宗]阿弥陀如来(東本願寺)
(楠/5寸/総高31.0cm)

※都合により出品予定作品が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。

- 1945年 京都市に出生
- 1962年 佛師を志し、仏像彫刻を始める
- 1964年 京佛師・野崎宗慶師に弟子入り
- 1979年 朝日新聞社・京都朝日会館にて個展を開催
- 1980年 京都伝統仏像彫刻会会員となる
- 1981年 京都仏像彫刻家協会展にて市長賞を受賞 以後、十数回受賞
- 1985年 京都仏像彫刻家協会展にて知事賞を受賞 以後、十数回受賞
- 1988年 フランス国立ギメ美術館(ルーブル美術館東洋別館)の仏像100体の修復を担当
- 1991年 「大佛師」の号を拝命
- 1999年 世界最大級の木造仏、大弁財天坐像完成(鹿児島県/最福寺)
- 2002年 真言宗高野山金剛峯寺に恵果阿闍梨尊像を奉納
- 2004年 西国三十三観音霊場三十二番札所、滋賀・観音正寺に総白檀による十一面千手観音坐像丈六大仏を納める
- 2005年 中越地震被災地・新潟山古志村に、復興地藏九体を謹刻

- 2005年 京都に松本明慶仏像彫刻美術館を開館
- 2006年 四国八十八カ所霊場会の出開帳用ご本尊八十八体を納める
- 2008年 比叡山延暦寺無動寺谷明王堂に不動明王像を納仏
- 2011年 京都府文化賞[功労賞]を受賞
- 2013年 京都府文化功労賞を受賞
- 2014年 高野山開創1200年記念中門再興事業の四天王(修理2体・新造2体)を納仏
- 2015年 和歌山県文化功労賞を受賞
- 2018年 高野山別格本山清浄心院に不動明王像を納仏
- 2019年 京都仁和寺に阿弥陀如来像を納仏
- 2023年 滋賀石山寺に弥勒菩薩像を納仏
親子三代で石山寺より「大佛師」の号を拝命
- 2024年 東京増上寺に徳川家康像を納仏
親子三代で増上寺より「大佛師」の号を拝命